

「すべてが益に変わる」 20161120

目標：イエス様と共にいる私たちに神は、全てのことが益になるように働きかけ、益にして下さる方であることを知る。

聖書箇所：ローマ書8：28-30 時間：10分

暗誦聖句：「神は、神を愛する者たち、すなわちご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。ローマ書8：28」

道具：ホワイトボード、ペン

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：今までパウロを年代順に扱ってきて、書簡であるローマ書になると、以前との繋がりが見えにくい。パウロの宣教の背後にあった実体験と位置づけて進めていく。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	本日の暗誦聖句を読んでみましょう。		大きな声で読むまで繰り返してもよい。 「万事」とは何か問う子もいる。使いなれない言葉は補足説明していく。
課題探究	6分	<p>どういう意味でしょう。</p> <p>神様は、私たちに起きることを、良いものにして下さるということです。</p> <p>図で考えてみましょう 普通は、私たちが良いことをしたらよいことが起き、悪いことをしたら悪いことが起きます。</p> <p>本日の御言葉で言われているのは、私たちにイエス様加わった場合です。 すると、良いことが良い結果を生むのは当たり前ですが、悪いことをしたときにも、良い結果になるということです。</p> <p>そういう経験はありませんか。</p> <p>先生はこういう経験をしました。</p> <p>みんなもできないこととか、困ったなあというようなこと、いわゆる悪いことをこれから先経験するだろうと思うのです。何もできないというようなこともあるでしょう。でも、主イエスに祈って、できることは取り組んでみましょう。神様が必ず不思議わざをしてくださいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・解らない ・神様は全てのことを良くしてくれるということ 	<p>ここで答えが出て構わない。その意味を深め、実体験に照らして理解することが大切なのである。実際はそんなことはないという反論も起きうる。一緒に考えていこうということで、本論に入ってしまった構わない。</p> <p>前者と後者の原因結果の対比ができる図であればよい。</p> <p>たまに良いことをしても悪いことが起き、悪いことをしてもよいことが起きると指摘する子がいるかもしれない。それは、そのまま受け取って板書してよい。</p> <p>「私達」に「+イエス様」を書き加える。</p> <p>前の段と比較して違いが分かるように、色分けなど工夫する。</p> <p>おそらく出ないだろう。出ないことを見越して、こちらで、悪かったはずなのによい結果が得られた経験などあらかじめ用意しておく。</p> <p>実例として（舌足らずで活舌が悪く、発音するのが苦手だったので、人知れず練習して数年たったら、発音がはっきりしているとほめられた話）をする。</p>
まとめ	2分	<p>みんなもできないこととか、困ったなあというようなこと、いわゆる悪いことをこれから先経験するだろうと思うのです。何もできないというようなこともあるでしょう。でも、主イエスに祈って、できることは取り組んでみましょう。神様が必ず不思議わざをしてくださいます。</p> <p>パウロさんもこういうことを何度も何度も経験しながら、福音を世界中に届けたのです。</p> <p>暗誦聖句</p>		<p>主の御業に期待する方向性でまとめを印象付けたい。</p> <p>187号のテーマからの反映。</p>